

HARMONY HALL FUKUI

20th
Anniversary

OFFICIAL GUIDE BOOK 2017.4-2018.3

一

期

一

演





「ハーモニーホールふくい開館記念 オーケストラ・合唱団」(1997.9.23)から



【作家・日本芸術院会員】

津村 節子

福井市生まれ。1965年「玩具」で第53回芥川賞。'98年「智恵子隠居」で芸術選奨文部大臣賞を受賞。2001年勲四等宝冠章受章。'03年に日本芸術院賞受賞・恩賜賞、ならびに福井県民賞受賞。同年、日本芸術院会員。'16年、文化功労者に選ばれる。

さて、次代を見据えて走り続けてきたホールは、いよいよ今年「成人」を迎えます。

20周年の節目にあたり、岩城氏とともに福井県立音楽堂を温かく見守り続けてくださった作家・津村節子さんに、ご寄稿を戴きました。

「ハーモニーホールふくい」は、2017年に開館20周年を迎えます。

開館 20 周年記念特別寄稿

「ハーモニーホールふくい」は、2017年に開館20周年を迎えます。

「アマチュアに厳しい」と言われた故・岩城宏之氏が、県民オーケストラと合唱団を率い、マラー作曲交響曲第2番「復活」を指揮したのは、1997年9月23日の柿落し公演。「コンクリートが乾く5、6年後には、世界最高のホールになる。」当時、福井県音楽アドヴァイザーで基本構想から関わった岩城氏が、未来の福井県立音楽堂に贈ってくださった最大級の賛辞でした。

CONTENTS

- 2 開館20周年記念特別寄稿 津村節子
- 5 **Orchestra**
多くの名演奏家から称賛をうける極上の空間
豪華絢爛、世界を魅了するオーケストラ・サウンド
- 10 **Special Essay** 宮下奈都
- 11 **Classic**
研ぎ澄まされた美しい音色が会場を包み込む…
珠玉の名曲たちが光り輝く瞬間
- 13 **Ruby**
若い世代を育む音楽堂オリジナルのステージ
福井の音楽界をリードする“越のルビーアーティスト”も活躍!
- 15 **Special Cross Talk** 小野 朗、浪花克治
ハーモニーホールふくいの音はこうして創られた
- 17 **Stage**
ジャンルの壁を越え、アートとアートが出逢うとき
音楽とパフォーマンスが紡ぐ劇空間
- 19 **Variety**
各ジャンルを代表するアーティストが魅せる
多彩なステージで感動を
- 21 **Service Information**
ホール、音楽を愛するすべての方に、
新企画やおトク情報をまとめてお届け



耀ける音楽堂

津村 節子

ハーモニーホールふくいが創立二十周年を迎えると聞いて、思わずわが来し方を振り返った。

私は福井市に生まれたが、小学校四年修了で東京へ転居したので、十年余しか暮らしていない。昭和四十年に芥川賞を受賞したのを期に講演会が企画されるまで、福井へおもむくことはなかった。

わが家の近くの佐佳枝通社、さかえみやさんのお祭にはサーカスがかかって楽しみだった。近くに小さな音楽堂があり、折々にコンサートが催されていて母に連れられて行った記憶がある。

福井県内に唯一「だるま屋」という百貨店があり、欲しい物は何でもあつて、食堂のガラスケースの中にはオムレツやハヤシライスやアイスクリームなどのレプリカが並んでいたが、百貨店にだるま屋



上:作家と演出家が強力なタッグを組み創り上げたオペレッタ「福井モダン」。だるま屋少女歌劇団に在籍していた高田富子(故人)を二人が囲み、福井の歴史を彩る舞台は大団円を迎えた。



下:津村氏の想いに寄り添い、独自の演出をつける寺崎氏

少女歌劇があつたのは不思議である。

だるま屋の創始者坪川信二氏が教育者で、雪国の子どものためにもこのくいを設け、それが少女歌劇が生まれたきっかけのよう

である。市内には映画館や芝居小屋が数多あつたが、母はだるま屋の少女歌劇が子供の教育上好ましいと思つていたようで、レヴューや、シニークスピアの「ベニスの商人」「じゃじゃ馬馴らし」「牡丹燈籠」(演

みや、だるま屋少女歌劇華やかなりし頃から福井空襲までの歴史、「福井ルネサンス」は天逝した歌人山川登美子、高浜虚子「虹」のヒロイン森田愛子、日本のシューベルト今川節の生涯を管弦楽、合唱、ハーブ、パイオルガンの演奏で上演し、第二部は国・県・市指定の無形文化財の壬生狂言、大滝神社岡本講、左義長ばやしなどを紹介した。フィナーレは私の作詞「これが福井」の大合唱だった。



「時代を超え魂の響を拾う」福井ルネサンス(2006.3.19)

た時、市内からひとく離れた田園地帯であり、全く実感が湧かなかつた。市中からあまりに遠くて、観客が集まるだろうか、と周囲を見廻したものである。

平成九年九月、福井県立音楽堂ハーモニーホールふくい開館記念式典の日は暗れ渡った美しい日であった。私はホールまでのプロムナードを栗田幸雄知事と屋根の

カーブが美しい大小二棟の建物に向つて並んで歩きながら、青春まつただなかにいる気分だった。客席の周囲の廊下をめぐり、客席の上部に設けられた二階席を見上げながら、ウィーンのおペレッタ公演の劇場を思い出した。

私はこのホールで、学習院文芸部演劇部の仲間と演出家寺崎裕則氏の脚色演出のおペレッタを上演している。

「福井モダン」は新聞記者を案内役として活気あふれる福井の街並

り、寺崎氏は、ウィーンを始め各地の劇場でオペレッタを鑑賞しており、自分でも上演しているが、「ハーモニーホールふくい」の設備



出演者と観客が一体となって「これが福井」を大合唱した「福井ルネサンス」のフィナーレ。郷土の力を結集したエネルギーを象徴するかのごとく、力強い歌声がホールに響き渡った。



“越のルビー音楽祭”の名前の由来は…

越のルビーは、津村節子さんが命名した福井生まれのミディトマト。完熟してから収穫されるので、ルビーのように真っ赤な色の特徴。まさに越の国で生まれた宝石です。このトマトにちなんで名付けられたのが、「ハーモニーホールふくい」で毎年開かれている、福井の若い音楽家たちのための「越のルビー音楽祭」。ロゴマークのトマトに青い部分が残っているのは、ルビーの代表的な石言葉

「情熱」のように熱い演奏をしてほしい、いずれは越のルビーのように真っ赤に熟してほしいという願いが込められているからです。



越のルビー音楽祭 スペシャル・チェンバー・コンサート(2016.8.7)から



「歌で語る福井の歴史 福井モダン」(1999.11.13,14)

協賛 **Fuji** **福井銀行**

7.20 (木)
19:00開演/大ホール

**レナード・スラットキン指揮
デトロイト交響楽団**
ピアノ:小曾根 真

S席 ¥12,000 A席 ¥10,000 B席 ¥8,000
バックシート ¥6,000 車いす席 ¥10,000 (学生半額)

出演/指揮:レナード・スラットキン、ピアノ:小曾根 真、管弦楽:デトロイト交響楽団
曲目/バーンスタイン:『キャンディード』序曲、バーバー:『弦楽のためのアダージョ』
ガーシュウィン:『ラプソディ・イン・ブルー』、コープランド:『交響曲 第3番』
<共催:福井テレビ>

特別協賛会員・友の会会員 2割引

2 017年度の海外オーケストラ公演は、国際色豊かな顔ぶれです。

第1弾は、アメリカを代表するオーケストラのひとつ、デトロイト響。その魅力を余すところなく発揮してもらうため、アメリカを代表する作曲家バーバーやコープランドなど、オール・アメリカン・プログラムにこだわりました。

スラットキンは、主にアメリカのオーケストラでキャリアを積んできたアメリカン・スピリットあふれるマエストロ。20世紀のアメリカ音楽を得意とし、映画音楽の巨匠ジョン・ウィリアムズと幼い頃から家族ぐるみで親交が深いことでも有名。2008年からデトロイト響の音楽監督を務めています。

ソリストもアメリカで大人気のジャズ・ピアニスト、小曾根真をキャスティング。ジャズだけでなくクラシック音楽にも本格的に取り組み、日本人ジャズ・ピアニストとして初めてニューヨーク・フィルと共演。このとき、聴衆から「小曾根の弾くガーシュウィンに興奮した」と絶賛された「ラプソディ・イン・ブルー」も今回のコンサートで聞くことができるのです。

アメリカ音楽の魅力あふれる公演。スターウォーズ・コンサートも手がけているスラットキンなので、もしかしたらアンコールであのメロディが聞けるかも！



デトロイト交響楽団



小曾根 真 ©ASAHI



レナード・スラットキン

協賛 **ゼーレン株式会社**

11.29 (水)
19:00開演/大ホール

**フィリップ・ジョルダン指揮
ウィーン交響楽団**
ヴァイオリン:榎本大進

S席 ¥15,000 A席 ¥12,000 B席 ¥10,000
バックシート ¥8,000 車いす席 ¥12,000 (学生半額)

出演/指揮:フィリップ・ジョルダン、ヴァイオリン:榎本大進、管弦楽:ウィーン交響楽団
曲目/ベートーヴェン:序曲「コリアン」、メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲
ブラームス:『交響曲 第1番』
<共催:FBC福井放送>

特別協賛会員 2割引

昨 年の「トーンキンス」の折には、多くのお客様に「ウィーンの音がした」と喜んでいただきました。

嬉しいことに、感動さめやらぬ今年もウィーンのオーケストラが聞けるのです。

1900年の創立以来、伝統的なウィーンの音楽をさらに洗練させることに取り組んできたウィーン交響楽団。歴代の首席指揮者の中にはカラヤンの名が！カラヤンは1950年から1900年の創立以来、オーケストラの音色作りにおいて重要な役割を果たしました。

今回は、2014年に首席指揮者に就任し話題を呼んでいるフィリップ・ジョルダンとの初来日。ジョルダンは、ヨーロッパ各地の音楽祭、歌劇場、オーケストラで活躍する人気指揮者。就任以来、ウィーン交響楽団の新たな時代を拓きつつあると評判です。ドイツ生まれながら、ウィーンで作曲家として開花したブラームスの作品を本場のオーケストラがどう奏でるのか、じっくり聴けるチャンスです。

ソリスト榎本大進にも注目です。2010年からベルリン・フィルの第1コンサートマスターを務めながら、ソリストとしても世界で活躍しています。「ハーモニーホールふくい」には6年ぶりの登場。メンデルスゾーンの名コンチエルトを聞かせてくれます。



フィリップ・ジョルダン ©Kien Francis Lehoucq



ウィーン交響楽団 ©Oliver Dornic



榎本大進 ©Oliver Dornic

協賛 **福井新聞社** **MITAS**

3.16 (金)
19:00開演/大ホール

**トゥガン・ソヒエフ指揮
トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団**
フルート:エマニュエル・バユ

S席 ¥12,000 A席 ¥10,000 B席 ¥8,000
バックシート ¥6,000 車いす席 ¥10,000 (学生半額)

出演/指揮:トゥガン・ソヒエフ、フルート:エマニュエル・バユ
管弦楽:トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団
曲目/グリンカ:歌劇「ルスランとリジドミラ」序曲、ハチャトゥリアン:フルート協奏曲
チャイコフスキー:バレエ音楽「白鳥の湖」(抜粋)
<共催:福井テレビ>

特別協賛会員・友の会会員 2割引

ア メリカ、オーストリアとくして、2017年度の最後を飾るオーケストラはフランスからの来日です。

19世紀のはじめに創設されたという歴史あるトゥールーズ・キャピトル管は、フランスを代表するオーケストラ。2008年から音楽監督を務めるソヒエフは、就任後団員の補強に着手し、団員と一体となったその関係は特別なものと評されています。指揮者としては若い40歳のソヒエフですが、華々しい経歴を持っています。ポリショイ歌劇場の音楽監督、兼首席指揮者でもあり、ベルリン・ドイツ交響楽団の音楽監督も務めました。

ソヒエフがロシア出身と

いうことで、今回、フランスのオーケストラが得意としているオール・ロシアン・プログラムにもご注目ください。何れも名曲揃いの中でも、特に興味深いのは、ハチャトゥリアンのヴァイオリン協奏曲をフルートで演奏すること。しかもソリストは「フルートの貴公子」とも呼ばれるエマニュエル・バユ。1989年の神戸国際コンクールで第一位になり日本での人気に火がついたバユ。来日公演も多く、ファンの間では「バユ様」と呼ばれているとか。2000年に初来福した際も、多くのお客様を魅了しました。気になる人はその目その目で確かめあれ！



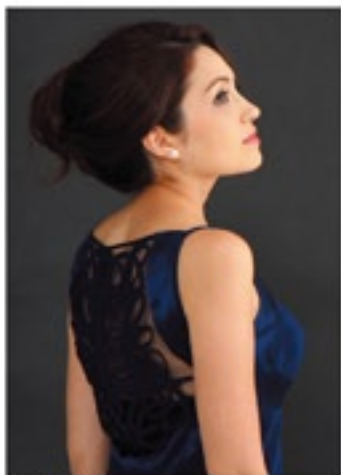
トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団 ©Phoca No



トゥガン・ソヒエフ ©Igor Horvath



エマニュエル・バユ



コロシ・エリカ



アーボ・ハッキネン

協賛 福井テレビ

12.3 (日)

15:00開演/大ホール

ORCHESTRA

サンタの国からやってくるアンサンブル ヘルシンキ・バロック・オーケストラ

全席指定 ¥3,000 車いす席 ¥2,400 (学生半額)
出演/指揮: チェンパロ、オルガン: アーボ・ハッキネン
ソプラノ: コロシ・エリカ、演奏: ヘルシンキ・バロック・オーケストラ
曲目/ヴィヴァルディ: ヴァイオリン協奏曲集「四季」op.44「秋」、「冬」
ヘンデル: 「メサイア」アリア集 op.42



ヘルシンキ・バロック・オーケストラ

今 年は5月と12月にバロック・コンサートをお届けします。このコンサートではヴィヴァルディの「四季」から秋と冬を演奏。2つのコンサートで完結する「四季」完全版。ここはぜひどちらも聞いてみたい！ところで、こちらのアンサンブルは、サンタクロースの国フィンランドからの来日。実は北欧もバロックが盛んな土地なのです。もちろんクリスマススの定番曲も。駐日大使夫人の顔も持つコロシ・エリカの歌やオルガン演奏もあり、クリスマス気分を満喫できそう。恒例のクリスマス・マルシェも開催します。



協賛 福井新聞社

5.27 (土)

18:00開演/大ホール

ORCHESTRA

新イタリア合奏団 ~2つの四季~

全席指定 ¥3,000 車いす席 ¥2,400 (学生半額)
出演/演奏: 新イタリア合奏団、オルガン: ロベルト・ロレージアン
曲目/ヴィヴァルディ: ヴァイオリン協奏曲集「四季」op.44「春」、「夏」
ピアノ(デシットニコフ編): プエノスアイレスの四季(弦楽合奏版)
フレスコバルディ: 「トッカータ集 第1巻」op.11 トッカータ 第1番
ヘンデル: オルガン協奏曲 第4番 へ長調 op.4
<共催: 福井テレビ>



新イタリア合奏団



ロベルト・ロレージアン

バロック音楽の本場からやってくる、イタリアが誇る超一流アンサンブル。イタリアの著名オーケストラやアンサンブルの経験者たちで構成されており、彼らが演奏する情熱あふれるヴィヴァルディの「四季」は聴き逃せないところ。今回は、初夏のコンサートということでも、「四季」から春と夏を演奏します。さらには、ピアソラの「プエノスアイレスの四季」。つまり、時代も場所も遠く離れた「四季」の競演なのです。
しかも、パイプオルガンが入るプログラムは福井公演のみ。贅沢な時間になること間違いなしです。



キエフ国立フィルハーモニー交響楽団

協賛 FBC

2018
1.8 (月・祝)

15:00開演/大ホール

ORCHESTRA

ニューイヤーコンサート2018 シルク・ドゥ・ラ・シンフォニー

SS席 ¥10,000 S席 ¥8,000 A席 ¥6,000 車いす席 ¥6,000 (学生半額)
出演/指揮: ニコライ・ジャジュラ、管弦楽: キエフ国立フィルハーモニー交響楽団
サーカス: シルク・ドゥ・ラ・シンフォニー
曲目/ドヴォルザーク: 「謝肉祭」序曲、チャイコフスキー: 白鳥の湖
ビゼー: 「カルメン」組曲 op.35



シルク・ドゥ・ラ・シンフォニー

2 018年のニューイヤーコンサートはなんとサーカス！フルオーケストラのコンサートとサーカスを融合させたエンターテインメントをお贈りします。
やって来るのは、2006年にアメリカで発足以来、全米を中心にツアーを成功させてきた日本初上陸のパフォーマンス集団、シルク・ドゥ・ソレイユのメンバーもいるというサーカス・パフォーマンスとオーケストラが奏でる名曲の数々をお楽しみいただけます。
「ハーモニーホールふくい」の空間がどう使われるのか？興味津々です。



協賛 福井新聞社

10.18 (水)

19:00開演/大ホール

ORCHESTRA

華麗なサウンドがよみがえる ポール・モーリア リメンバー・コンサート

全席指定 ¥8,000 車いす席 ¥6,400 (学生半額)
出演/指揮: ジャン・ジャック・ジュスタフレ
演奏: ジャン・ジャック・ジュスタフレ・グランド・オーケストラ
曲目/忘はみずいる、オリブの首飾り、薔いノクターン op.4
<共催: FBC福井放送>



ジャン・ジャック・ジュスタフレ



ジャン・ジャック・ジュスタフレ・グランド・オーケストラ

イージーリスニング界の第一人者だったポール・モーリア。今も、彼のサウンドは脈々と引き継がれています。
オーケストラを率いるジュスタフレは、モーリア引退後のポール・モーリア・グランド・オーケストラ来日公演や死後の追悼公演をまかされてきた指揮者。彼のサウンドを遺したいと、ポール・モーリア・グランド・オーケストラのメンバーを中心に楽団を結成し、全世界で活動しています。
誰もが耳にしたことがある、あの華麗なサウンドが「ハーモニーホールふくい」でよみがえります。



開館20周年記念 越のルビー音楽祭スペシャル

9.23(土・祝) 14:00開演(予定)/大ホール 入場無料(要整理券)

<共催: 福井県、福井県教育委員会/協力: 福井工業大学デザイン学科>

構成 第1部: 記念式典、弦楽アンサンブル・ステージ

出演/ 福井県内芸術教育推進事業 弦楽クラブ
福井ジュニア弦楽アンサンブル

第2部: 未来の動物の謝肉祭(仮題)

作曲/ 笠松泰洋、星谷文生、出井和一、山下真実
脚本/ 宮下奈都
出演/ ヴァイオリン: 松谷由美、荒井亮子 ヴィオラ: 山口梨恵 チェロ: 荒井結子
コントラバス: 渡藤悠一郎 ピアノ: 川村文雄、竹沢友里 フルート: 宮田真実
クラリネット: 藤永美恵 パーカッション: 山崎智里 朗読: 澤田博司

小説家というのは、ひとりきりで物語を紡ぐ職業です。気がつくとも、家族以外とは誰とも話さないまま、一週間でも十日でも過ごしてしまうこともあります。だから、県立音楽堂から依頼を受けて携わった仕事は新鮮でした。越のルビー音楽祭では、2014年と2016年に、「リトルピアニスト」と「大きな鳥」、それぞれ小さなお話を書きおろして、そこに音楽を



上: 越のルビー音楽祭
お話とピアノでつづるコンサート
「大きな鳥」(2016.8.2)から

下: 越のルビー音楽祭
お話とピアノでつづる「音の絵本」
コンサート
「リトルピアニスト」(2014.8.3)から

が、愛にあふれた作曲家、ピアニスト、朗読者、ダンサーたちの手によって、自由に羽ばたいていくのを見ました。それは、ほんとうにしあわせな体験で

福井在住の作家・宮下奈都さんは大の音楽好き。以前から「ハーモニーホールふくい」に足繁く通う熱心な観客のひとりで、ここ数年は、作家としても公演に関わっていただいています。今年も宮下さんと「わくわく」を一緒に！

つけてもらい、さまざまな演出を施してもらい、ひとつの作品として舞台上がりました。非常に実りの多い体験でした。文章だけで表現された、読んだ方の心の中だけにあるはずの風景が、まったく分野の異なる表現者たちによって描かれるおす、その瞬間にまさに立ち会うことになったのです。たとえば「大きな鳥」なら、はじめは私ひとりのものだった翼

ふくいのヤング・アーティストたちが集結
開館20周年記念公演は、芸術文化に関わる若い世代の力を結集して開催します。
まずは、子どもたちの弦楽アンサンブル。弦楽を学ぶ子どもたちを育む輪は、県が取り組む芸術推進事業として年々拡大しています。音楽堂を拠点に活動している「福井ジュニア弦楽アンサンブル」ともども、初々しいステージを繰り広げます。
記念式典をはさんで、後半には、音楽堂とともに20年かけて熟してきた越のルビーアーティストたちが、アートの子どもたちとコラボ

中学生・高校生が考える動物たちの美術作品を大学生が映像化する一方、4人の作曲家は音楽作品で表現。さらには、作家・宮下奈都が全体をひとつに紡ぐ物語を書き下ろすというもの。ステージでは、映像アートと物語の朗読とともに

に、越のルビーアーティストによる室内オーケストラが、サン・サーンズ作品と新たな「謝肉祭」を融合させるのです。美術、映像、文学、音楽があいまった壮大なカーニバルにご期待ください。



作家 宮下 奈都

Natsu Miyashita



© 福田芳香

福井市生まれ。2004年、「静かな雨」が第98回文学界新人賞佳作に入選し、小説家デビュー。2016年、「羊と鋼の森」で第13回本屋大賞受賞。著書に「スコートNo.4」「誰かが足りない」「神さまたちの遊ぶ庭」「静かな雨」など。

した。原作者だから得られたよろこびではなく、多くの客席の皆さまと共有できたよろこびでありますように、と折るばかりです。
今年も、「動物の謝肉祭」という楽しいような企画が決まっています。今度は、サン・サーンズの名曲に、小説家としてのどのようにかわることができているのか、わくわくしています。いつも面白いことを考えている県立音楽堂と、ここに集うお客さまたちのことが、私はとても好きです。二十周年、おめでとうございます。これからもどうぞよろしくお願いたします。

協賛 福井新聞社

7.12 (水)

19:00開演/小ホール

華麗なるイタリア・オペラの世界 「オペラへの誘い」II

全席指定 ¥3,000 車いす席 ¥2,400 (学生半額)
企画・構成・解説/小宮正安
出演/ソプラノ:市原 愛、テノール:西村 悟、演奏トリオ/王立歌劇場トリオ
曲目/ブッチーニ:オペラ「ラ・ボエーム」セレクション ほか



西村 悟 Chikurō Fukuoka 市原 愛



トリオ/王立歌劇場トリオ 演奏:市原愛、西村悟、小宮正安

ちよっと敷居が高いかたと感じ
がちなオペラの世界をわかり
やすく楽しく紹介し、好評を博した
コンサートの第2弾。今回も日本を
代表するオペラ歌手2人と、ヨー
ロッパ文化史が専門の先生が、オペ
ラの歴史的背景から愉しみ方ま
でやさしくひもといてくれます。
演奏は、イタリアの名門歌劇場
「トリノ王立歌劇場」の精鋭たち。
ブッチーニの「ラ・ボエーム」をはじ
め、イタリアオペラの魅力を本場の
サウンドでご堪能ください。「ハー
モニホールふくい」でしか出会え
ないオリジナル公演です。

協賛 ROYAMA

8.20 (日)

15:00開演/小ホール

サマー・ハープコンサート2017

全席指定 ¥3,000 車いす席 ¥2,400 (学生半額)
出演/ハープ:ナタリア・シャメーヴァ、井上久美子、木村茉莉
篠崎史子、山崎祐介 ほか
曲目/グリエール:即興曲、グリーンカ:ノクターン、チャイコフスキー:舟歌
スロニムスキー:ロシアントッカータ ほか



ナタリア・シャメーヴァ



木村茉莉 井上久美子



山崎祐介 Chikahiko Arai 篠崎史子 Chikako Shinozaki

県内に楽器メーカーがある縁
で、マリンバとハープのコン
サートを毎年交互に開催していま
す。今年はハープの年。毎回、国内
をはじめ、世界のトッププレーヤー
による超一流の演奏に、県内外の
ハープファンは大盛り上がり。もち
ろん、本格的なハープを聴くのは
初めてという方にも、楽器の魅力
が余すところなく詰まっています。
スズメです。ハープがご当地楽器で
ある恩恵にあずかりましょう。
今回は海外ゲストとして、ロシア
から世界的ハープビスト、ナタリア・
シャメーヴァを招きます。

協賛 福井テレビ

8.11 (金・祝)

14:00開演/小ホール

越のルビー音楽祭 スペシャル・チェンバー・コンサート

全席指定 ¥3,000 車いす席 ¥2,400 (学生半額)
出演/ディノ カルテット(ヴァイオリン:室屋光一郎、伊藤 彰、ヴィオラ:生野正樹、チェロ:向井 航)
ヴィオラ:笠川 憲<スペシャルゲスト>
曲目/ショスタコーヴィチ:弦楽四重奏曲 第8番、プラムス:弦楽五重奏曲 第1番、室屋光一郎:新曲 ほか
レジェンドカルテット
あるディノ カルテット
が活動4年目を迎えます。恒
例のコンサートの第1部はカ
ルテットステージ、第2部は
ゲストに福井出身のヴィオラ
奏者・笠川憲を招いてのステ
ージです。
世界最高の現代音楽集団
といわれる「アンサンブルモデ
ル」に所属し、ヨーロッパで
活躍中の笠川。ヴィオラとい
うとちょっと地味な楽器とい
う印象があるかもしれませんが、
そんなイメージはきつと吹
き飛ばしてしまうはず。ディノ+
笠川の5本の弓がどんな火花
を散らすのでしょうか。



ディノ カルテット



笠川 憲

12.24 (日)

14:00開演/大ホール

ふくいの第九

全席指定 ¥2,000 車いす席 ¥1,600 (学生半額)
出演/指揮:三河正典、ソプラノ:川崎美砂子、メゾソプラノ:水津弘美、テノール:辻崎幹彦、バリトン:川崎隆夫
合唱:ふくいフロイデ合唱団、管弦楽:福井交響楽団、合唱指揮:高橋かほる
曲目/ベートーヴェン:交響曲 第9番 ほか
<共催:福井交響楽団、ふくいフロイデ合唱団>



三河正典 福井交響楽団



川崎美砂子 水津弘美 辻崎幹彦 川崎隆夫



ふくいフロイデ合唱団 高橋かほる

2016年12月、福井市
文化会館において、久
しぶりに県都における「ふく
いの第九」が復活しました。
2017年の年末は、この
「ふくいの第九」がさらにパ
ワーアップ。本来のオーケスト
ラヴァージョンでの全曲公
演が実現します。県民で構成
されたふくいフロイデ合唱団
が福井交響楽団の演奏で歡
喜の歌声を響かせます。年末
恒例の「第九」、県民のパワー
を総結集した演奏にご期待
ください。

協賛 福井トヨタ

2018
2.25 (日)

15:00開演/小ホール

東京チェロアンサンブル 福井公演

全席指定 ¥3,000 車いす席 ¥2,400 (学生半額)
出演/チェロ:荒井結子、清水詩織、高木慶夫、中 実穂、新倉 隆
編 沙也香、宮田 大、三宅依子、宮坂誠志、横山 桂



荒井結子 清水詩織 高木慶夫 中 実穂 新倉 隆



編 沙也香 宮田 大 三宅依子 宮坂誠志 横山 桂

福井を拠点に活躍する
チェリスト、荒井結子。
2016年秋のNHK交響
楽団公演にエキストラとして
参加するなど、年々活躍の場
を拡げています。今回の東京
チェロアンサンブルもそのひと
つ。2008年、信頼しあう
同世代のチェリストたちで結
成され、2018年に10周年を
迎えます。荒井をはじめとす
るメンバーは、まさに日本のク
ラシック音楽界の次代を担う
アーティストたち。彼らは、
チームワークも抜群！
10本のチェロの音色に心奪
われ、その場になるでしょう。



アンサンブル・ノマド ©Maki Takai



佐藤紀雄 木ノ脇道元 菊地秀夫 花田和加子



甲斐女子 松本卓以 佐藤洋朗 中川賢一

協賛 おかげさまで設立20周年 (公財)げんてんふれあい福井財団

2018 **2.9 (金)** 19:00開演/小ホール

アンサンブル・ノマドが贈る室内楽の楽しみ ～音楽の中の生活～

全席指定 ¥3,000 車いす席 ¥2,400 (学生半額)
 出演/指揮:ギター:佐藤紀雄、フルート:木ノ脇道元、クラリネット:菊地秀夫
 ヴァイオリン:花田和加子、ヴィオラ:甲斐女子、チェロ:松本卓以
 コントラバス:佐藤洋朗、ピアノ:中川賢一
 曲目/サティ(星谷文生編):家具の音楽op
 テレマン(星谷文生編):食卓の音楽op
 ケーシ:居間の音楽
 シューベルト:ピアノ五重奏曲「舞」第4楽章 op
 <主催:(公財)会沢芸術創造財団、協賛:福井大学作曲研究室>

2018 **3.18 (日)** 14:00開演/小ホール

平成29年度 福井県新人演奏会

全席自由 ¥500 (学生・車いす席:割引なし)
 出演/オーディション合格者(ピアノ、器楽、作曲、声楽の各部門)



平成27年度 新人演奏会から

卓 越した技術を持つユニークなメンバー、「遊牧民」の名に違わぬ幅広いレパートリーで、国内外を股にかけて活躍するアンサンブル・ノマド。その実力と魅力のほどをご存知の方も多いでしょう。

アンサンブルの福井初公演のテーマは、やはり「音楽の中の生活」。280年前に書かれた「食卓の音楽」から、元祖BGMと呼ばれるサティの癒しの音楽、ステージの真ん中に突如リビングが出現する摩訶不思議なケーシの作品まで、古今の作曲家たちの日常生活をのぞいてみましょう。

アンサンブル・ノマドと行く音楽の時間旅行、ちょっと刺激的です！

メンバーの一部が審査員を務める、恒例の新人オーディション・演奏会も併せて開催します。



「ジュニアが輝く!音楽の森」コンサート2018から

協賛 福井ケーブルテレビ株式会社 びがけいケーブルテレビ株式会社

2018 **3.21 (水・祝)** 15:00開演/小ホール

ジュニアが輝く! 「音楽の森」コンサート2018

全席自由 ¥500
 3歳～高校生・車いす席 ¥100
 出演/指揮:南出信一、演奏:平成29年度 福井ジュニア弦楽アンサンブル・セミナー受講生

若 い弦楽器奏者たちにアンサンブルの楽しさを知ってもらおうと、「ハーモニーホールふくい」では、2006年から「福井ジュニア弦楽アンサンブル・セミナー」を開催しています。

小学生から大学生までの受講生たちが、約10ヵ月にわたるプロの指導を受けながら腕を磨きます。毎年参加する受講生も多く年々アンサンブルの質は上がってきています。一年間のセミナーの締めくくりに、その成果をこのコンサートで発表します。

受講生たちの輝く「今」を聞きにきてください。



南出信一



フェスティバル・カルテット

共催 福井新聞社

2018 **8.9 (水)** 19:00開演/小ホール

越のルビー音楽祭 若い芽コンサート2017

全席自由 ¥1,000 車いす席 ¥800 (学生半額)
 出演/県内出身または在住の中学生・高校生(オーディション合格者)
 フェスティバル・カルテット(ヴァイオリン:松谷由美、荒井亮子、ヴィオラ:山口梨恵、チェロ:荒井結子)
 構成/第1部:ソロ・ステージ、第2部:弦楽四重奏との共演ステージ

ふ 小さい音楽を学ぶ中、学生・高校生がプロと共演する、若手育成プログラムです。出演は、2月の公開オーディションで選ばれた演奏家の卵たち。それぞれがソロと、カルテットとの共演を披露します。共演ステージは、福井の弦楽器奏者によるフェスティバル・カルテットが、リハーサルの際から彼らをサポートしてくれまます。ほとんどの出演者は、プロのカルテットとの本格的共演は初めてで、リハーサルを経て本番を迎える頃には、驚くほど成長しています。

みなさんも、その成長の瞬間を聞きにきてませんか。

協賛 日華化学

2018 **11.5 (日)** 11:00開演(予定)/大ホールステージ

秋の子ども音楽会 ステージできくコンサート(仮題)

ステージ席・2階席(全席自由) ¥2,000 (0歳～高校生:半額)
 出演/マリンバ、パーカッション、プロデュース:山崎智聖
 フルード:中島有子、トランペット:中島愛実、ピアノ:小高千晃
 制作補助/ママさんディレクターズ
 ※60分(休憩なし)プログラム



小高千晃 中島愛実 中島有子 山崎智聖



「ステージできくコンサート」(2016.11.6)から

子 育て中のアーティストが企画するシリーズ第5弾。毎年恒例のこのコンサートでは、目の前で繰り広げられるアーティストたちのパフォーマンスに、子どもたちは釘付けです。曲目は本格的なクラシック音楽ばかりですが、たとえ現代作品でも子どもたちはとってもしっかりと聞いています。「子どもが小さくてなかなかコンサートに行けない」というお母さんにも大好評です。

今回のプロデューサーはマリンバ・打楽器奏者の山崎智聖。「リズム」が主役というところで、これまで以上に賑やかなコンサートになりそうです。

福井のアーティストが大活躍

越のルビーアーティストによるワンコイン・コンサート(年2回/500円)

入場無料のイベントも!

ふるさと子どもコンサート

(平日開催/要申込) ※4月頃、詳細発表予定
 (平日午前開催/要申込) ※4月頃、詳細発表予定

かほるママのクラシックあ・そーと、2017

(平日午前開催/要申込) ※4月頃、詳細発表予定

クリスマス・マルシェ

(12月2,3日開催) ※10月頃、詳細発表予定

ハーモニーホールふくいの音はこうして創られた

縮尺模型を作って
試行錯誤できたのがよかった

「ハーモニーホールふくい」(以下H H F)が建てられた時、小野朗さんは建築音響設計の担当者、浪花克治さんは電気音響設計の担当者でした。

小野「公共ホールの場合、多目的型が多いのですが、H H Fの大ホールはコンサート専用、シューボックス型というのが決まっています。やりやすかったですね。シューボックス型

のいいところは、音に包まれているような親密感がある空間になることなので、音に抱きしめられるイメージを意識して考えました」
大ホールの音響設計では、建築前に、コンピュータシミュレーションに加え、1/10縮尺模型を作り実験しました。模型内のステージで1/10の波長の音を出し、客席で10倍速で録音した音を元に戻して検証します。全体を密封して空気濃度も変えるなど、大掛かりな実験です。

音に抱きしめられるイメージで
つくりました



まろやかな味の音がする
いいホールになったよね

オルガンが入って
さらにいい音のホールに

パイプオルガン設置は開館6年後ですが、ホールは最初からオルガン設置を想定した設計でした。

小野「オルガンを入れる部分は、オルガンの吸音特性を考慮した壁にしてみました。でも入れ替えてみたら、残響時間は変わらなかったのですが、音はとて良くなりましたね。まろやかというか」
浪花「パイプオルガンのように長さ

太さの違う管がいっぱいあって複

20TH ANNIVERSARY SPECIAL CROSS TALK

浪花千葉音響計画株式会社

浪花 克治

Katsuji Naniwa

1974年、現永田音響設計入社。永田音響設計在籍時にハーモニーホールふくいはじめサントリーホール、新国立劇場等を担当。2001年、退社し浪花千葉音響計画を設立。衆議院本会議場の各音響設備、坂井市みくに市民センター(仮称)の音響設計等を担当

株式会社永田音響設計

小野 朗

Akira Ono

1980年、永田建築音響設計事務所(現永田音響設計)入社。現在、同社取締役プロジェクトチーフ。ハーモニーホールふくいはじめ、福井県民ホール、ミュージアム川崎シンフォニーホール、紀尾井ホールなどを担当

浪花「予算も時間もかかるので、このホールでも可能ではないんですが、試行実験が出来るので間違いなくいいものになります」
小野「よくホールの特性として残響時間が云々されますが、残響時間はホールの音の質を示す指標ではないんです。実際は、音が出てから0.1秒ほどの間の初期反射音でホールの味は決まります。シミュレーションでは、そのあたりをかなり試行錯誤しましたね」
浪花「お酒に例えると、残響時間はアルコール濃度、音の質は味なんですよ。味の違いはアルコール濃度に依るわけではないし、違いがわかるのは飲み込んだ後ではなく、最初に口に入れた時でしょ。ホールの味も

雑な形のものが、音を温かくしてくれたと思います。人間が計算して作ったものでは、かなわないんですよ。オルガンビルダーの人も燃えたんじゃないかな。いいホールはいい人を育てるよね」
小野「多目的ということ、小ホールの方が難しかったですね。用途に合わせて壁面の状態を変化させて、残響を調節できるようにしてあります」

浪花「リハーサルでいろいろ試しているようにうれしいですね。やっぱり運用する人が大事だね」



小ホールの残響調整装置。ステージ正面の壁を閉じた状態(下)と左右に開いた状態(左)。壁面の壁の中にも、残響調整装置が内蔵されている。



パイプオルガンを設置する前の大ホール。正面の壁は、オルガン設置を考慮した造りになっていた。



模型実験を行った
越前市八石の元校舎



1/10縮尺模型の中。観客には発泡スチロールの本体にフェルトの服を着せて、人体の吸音特性を再現している。



写真: 阿部 幸也



稲川 幸希



浅野 龍



山手 龍



小野寺 健二

協賛 URALA

8.4 (金)

19:00開演/小ホール

ファミリーシアター 「気づかいルーシー」

全席指定 ¥3,000 車いす席 ¥2,400 (5歳~大学生:半額)
原作/松尾スズキ(千倉書房「気づかいルーシー」) 脚本・演出/ノゾエ征爾
音楽/田中 馨 美術/深沢 権 照明/吉本有輝子
音響/井上直裕 衣裳/駒井友美子
出演/岸井ゆきの、栗原 類、川上友里、山口航太、山中 崇、小野寺健二
演奏/田中 馨(コントラバス、歌)、森 幸に(キーボード、歌)
※上演時間(予定)約90分(休憩なし)
＜企画制作:東京芸術劇場＞

原 作は「大人計画」主宰で俳優としても活躍する松尾スズキ。脚本・演出は、演劇界の芥川賞とされる岸田戯曲賞作家で演劇ユニット「はえぎわ」主宰のノゾエ征爾。出演者の顔ぶれも演劇好きにはたまらない作品ですが、そんなことは知らなくても、子どもから大人まで楽しめるエンタテインメントの世界が繰り広げられます。
心やさしい登場人物たちが、お互いに気づかいをしすぎるあまりに起こる悲喜劇。生演奏に歌と踊りと「気づかい」を乗せて、さてどうなることやら。東京芸術劇場の企画でも2015年に初演され、全国公演でも大好評の舞台です。



大塚 龍



小野寺 健二



志水 優子
Shimizu Yumi



中川 俊



中村 明一



下町 兄弟

11.15 (水)

19:00開演/小ホール

小池博史 meets 宮沢賢治 新・ダンス音楽劇「注文の多い料理店2017」

全席指定 ¥3,000 車いす席 ¥2,400 (学生半額)
作・演出・振付/小池博史 音楽/中川俊郎、藤井健介 照明/富山貴之
衣裳/川口知美(COSTUME80+) 小道具/松島 誠、森 聖一郎
出演/小谷野哲郎、志水優子、大塚 龍
演奏/中川俊郎(ピアノ)、中村明一(尺八)、下町兄弟(パーカッション) ※
ボイス(録音)/木村 弓
※上演時間(予定)約90分(休憩なし)
＜連携:バルテノン多摩、柏市民文化会館、豊中市市民ホール＞

パ フォーマンス・プロジェクトを主宰する小池博史が手がける音楽・演劇・ダンスの3要素が絡み合った作品です。ほぼセリフなしで、3人のパフォーマンスがピアノ・尺八・パーカッションの演奏とともに生み出す、生の舞台ならではの臨場感。宮沢賢治の物語を基本にしなが、人間と動物、自然のあり方を問う演出が評判の舞台。パフォーマンスたちが動物世界と人間世界を行き来しながら、独特の世界を創り出します。2012年から全国で公演を重ね、さらに新演出を加え2017年版として上演します。



西村 雅彦



協賛 国民銀行

5.4 (木・祝)

18:00開演/小ホール

風と緑の楽都音楽祭inふくい 俳優 西村雅彦が演じる 「ベートーヴェンと三人の女たち」

全席指定 ¥2,000 車いす席 ¥1,600 (学生半額)
構成/新井藤子
出演/語り:西村雅彦、演奏:風と緑のカルテット
作曲/ベートーヴェン(青島広志編):交響曲 第5番「運命」、エリーゼのために
ピアノ・ソナタ「悲愴」、ラズモフスキー 第3番 ※
※上演時間(予定)約60分(休憩なし)
＜企画制作:レタカ-全沢 風と緑の楽都音楽祭実行委員会＞

ベ ートーヴェンが遺した「不滅の恋人」への手紙、ところがそれには宛名が記されていない。不滅の恋人とはいったい誰なのか。初恋の人？初めて結婚を申し込んだ人？それとも人妻？ベートーヴェンの名曲と独り語りで語る音楽にまつわる物語のステージです。
ベートーヴェンに扮するのは、NHK大河ドラマ「真田丸」での熱演も記憶に新しい俳優、西村雅彦。演奏は金沢の精鋭カルテット。石川県立音楽堂の企画で2013年に初演され、各地で好評を得ました。「風と緑の楽都音楽祭」のサテライトコンサートです。

協賛 FBC

6.25 (日)

15:00開演/小ホール

初夏の子どもコンサート シンドバッドのぼうけん

全席指定 ¥2,000 車いす席 ¥1,600 (3歳~高校生:半額)
作曲:台本構成/笠松泰洋 演出:出演/佐次えりな 照明/倉本泰史 音響/堀 裕史
朗読/大塚明夫 演奏/新オリエント楽団
(ヴァイオリン:関 賢基、サズ、ウード:大平 清、パーカッション:立岩潤三、オーボエ、ズルナ:笠松泰洋)
木下由香(ピアノ)
司会/谷口祥代
演目/第1部:メソポタミアで生まれた楽器が世界へ
ラルサン ラルサン(クルド民謡)、ロンガシャナーズ(トルコ古典曲)、カフィヤ(ギリシャ民謡) ※
第2部:音楽朗読劇「シンドバッドのぼうけん」(新作初演)



佐次 えりな



大塚 明夫



新オリエント楽団



「プレーメンのおんがくたい」(2016.6.11)から



木下 由香

音 楽と朗読による子どもたちの第6弾です。今回は、初回の「アリババと40人の盗賊」で朗読を務め好評を博した俳優、大塚明夫が再登場。物語は、アラビアンナイトでおなじみの「船乗りシンドバッド」の物語をもとに、大胆アレンジの予定です。前半は解説付きコンサートで、音楽劇に出てくる珍しい楽器をわかりやすく紹介してくれるのもうれしいところ。恒例の子役参加もあります。公募で集まった小学生たちが舞台に参加。彼らの活躍は番組化して、後日FBCで放送予定です。



五木ひろし



オーケストラ・アンサンブル金沢



藤野浩一

協賛 SHINDO

9.30 (土)

16:00開演/大ホール

五木ひろし ふるさとに歌う

全席指定 ¥8,000 車いす席 ¥6,400 (学生半額)
出演/歌:五木ひろし、指揮:藤野浩一、管弦楽:オーケストラ・アンサンブル金沢
曲目/九頭竜川(作曲:五木ひろし、作詞:下地登記子) ほか



昨年の大晦日、NHK紅白歌合戦で「九頭竜川」を歌う姿が印象的でした。最近ますます、活動の端々に故郷ふくいに對する想いが感じられるようになってきた五木ひろし。開館5周年、10周年を経て、20周年である2017年も登場します。「ハーモニーホールふくいの節目には五木ひろし」といっても過言ではないはず。共演は、オーケストラ・アンサンブル金沢。指揮は、NHKコメディ「お江戸でござる」のテーマ曲を手がけ、作・編曲家の顔を持つ藤野浩一。最高の音響で聞く五木ひろしです。



オルケスタ・デル・ソル



オルケスタ・デ・ラルス

6.22 (木)

19:00開演/大ホール

2大サルサ・バンド 夢の饗宴! オルケスタ・デル・ソル × オルケスタ・デ・ラルス

全席指定 ¥6,000 ペア券 ¥10,000
車いす席 ¥4,800 (学生半額)
出演/オルケスタ・デル・ソル、オルケスタ・デ・ラルス
曲目/マンボNo.5、キサス・キサス・キサス、鳥明、コーヒー・ルンバ ほか
<共催:FBC福井放送>

2つのサルサ・バンドの競演です。おや?名前が似ていますね。それもそのはず、この2つはいわば兄弟バンドなのです。1978年、日本初のサルサ・バンドとして誕生したのがオルケスタ・デル・ソル(太陽の楽団)。そのメンバー2人を母体に1984年に結成されたのがオルケスタ・デ・ラルス(光の楽団)なのです。コアなファンが多く、後進への影響も大きい「ソル」、サルサファン以外にも幅広く人気の「ルス」と、性格は違いますが、どちらも日本を代表するサルサ・バンドです。夢の饗宴をお楽しみに!



11.23 (木・祝)

16:00開演/大ホール

坂東玉三郎演出 鼓童「打男 DADAN 2017」

全席指定 ¥5,000 車いす席 ¥4,000 (学生半額)
演出/坂東玉三郎
出演/太鼓芸能集団 鼓童
<共催:北船>

1981年のデビュー以来、佐渡を本拠地に国内外で活動を行い、和太鼓楽団のトップに君臨し続けている「鼓童」。歌舞伎俳優の坂東玉三郎が演出や共演で携って以降、その表現はより洗練され、新しいステージを生み出しています。「打男 DADAN」は、2009年初演の玉三郎演出作品。国内だけでなく海外でも公演を重ね、進化し続けてきました。太鼓は生で聞かないとその魅力はわかりません。男たちがひたすら太鼓を打ち続ける全力疾走のステージを、全身で感じてください。

協賛 福井信用金庫

9.20 (水)

19:00開演/大ホール

東儀秀樹 × 古澤 巖 × coba TFC55 LEVEL IV

全席指定 ¥6,000 車いす席 ¥4,800 (学生半額)
出演/鍵盤、笙:東儀秀樹、ヴァイオリン:古澤 巖、アコーディオン:coba ほか



古澤 巖

東儀秀樹

coba



×ンパー全員が55歳の時に結成したため、頭文字十年齢でこの名前になったトリオ。4年目を迎えるも、誰しも55歳ではありません。が、エネルギーあふれる演奏はより若返っているかもしれません。年を重ねるごとに3人のセッションはスリリングさを増しています。2016年にはイタリアでの公演も成功させました。「ハーモニーホールふくい」への登場は2年ぶり3回目です。毎回、3人の丁々発止の演奏が火花を散らし、客席もステージも大変な盛り上がり。熱いリクエストにお応えしてのアンコール公演です。

繰り返しご来場でおトク

スタンプ de ビンゴ

うれしい特典がもらえる、開館20周年スペシャル企画!

①

ご来場時に当ガイドブックと
チケットをお持ちください。

(このページは、
切りはなしてご使用になります。)

②

入場後、専用受付で
ホールスタッフが
スタンプを押印します。

(曜日、まとめてインフォメーションセンターに
お持ちいただいても結構です。)

③

集めたスタンプ、
ビンゴの数によって、その都度
特典が受けられます。

BINGO CARD				
5/27 [SAT]	7/12 [WED]	8/9 [WED]	5/4 [THU]	6/22 [THU]
7/20 [THU]	8/11 [FRI]	12/24 [SUN]	6/25 [SUN]	9/20 [WED]
11/29 [WED]	8/20 [SUN]	2018. 2/9 [FRI]	8/4 [FRI]	9/30 [SAT]
12/3 [SUN]	11/5 [SUN]	2018. 3/18 [SUN]	11/15 [WED]	10/18 [WED]
2018. 3/16 [FRI]	2018. 2/25 [SUN]	2018. 3/21 [WED]	2018. 1/8 [MON]	11/23 [THU]

スタンプ3個で
ノベルティグッズ
プレゼント

clear

スタンプ7個で
スキンケアグッズ
プレゼント

clear

スタンプ20個で
平成30年度
プレミアム公演招待
チケット引換券プレゼント

clear

更にビンゴになると!
ビンゴ1列につき、
「ブンカさろん」協賛店で使える
スペシャル・クーポンを
1枚プレゼント

clear 1	clear 2	clear 3	clear 4
clear 5	clear 6	clear 7	clear 8
clear 9	clear 10	clear 11	clear 12

フリガナ	ご住所 〒
ご氏名	様
TEL () -	

*ご記入いただいた個人情報につきましては、(公財)福井県文化振興事業団からお送りする公演情報等のご案内の他には使用しません。

Wチャンス!

平成28年度のスタンプシートにスタンプを1つでも押された方! 右記までご連絡ください。抽選により素敵な賞品を差しあげます。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。)

受付先

〒918-8152 福井市今市町40-1-1
(公財)福井県文化振興事業団「スタンプラリー」係
【応募締切】2017年 5月31日(水) 当日消印有効

SERVICE INFORMATION

チケット購入がインターネットでお手軽に!

2016年10月ウェブサイトのリニューアルに伴い、
インターネット・チケットサービスを開始し、
チケットの購入がますます便利になりました。
どうぞご利用ください。



パソコン、スマートフォン
タブレットから
365日24時間いつでも購入OK!

購入方法 ①オンライン登録(無料) ②座席を選択して申込 ③クレジットカードで支払 ④郵送もしくはコンビニで受取

ご入会でおトクに

◎会員制度

(公財)福井県文化振興事業団では、下記の会員制度を設け、随時募集しております。

■特別協賛会員

主催事業の目的にご賛同・ご支援いただける方々が対象です。会員期間はご入会の日から
1年後の月末迄で、個人会員の年会費は一口につき50,000円です。
※法人協賛会員、冠協賛会員の制度もあります。

特典

- ご芳名掲載
- チケット優先予約(一般・プレイガイド発売日の4日前、インターネットでは2日前)
- チケット割引購入(枚数制限無)
- チケット引換券のご提供(ご協賛金額の1/4相当分または広告掲載)

■ふくい文化友の会

年会費3,000円で、どなたでもご入会いただけます。

特典

- チケット優先予約
(一般・プレイガイド発売日の3日前、インターネットでは2日前)
- チケット割引購入(各公演2枚まで)

共通特典 ●情報誌「季刊ブンカ」の送付 ●文化施設等の見学ツアーへの参加

◎平日午後のおトクな企画「ハーモニー ブンカさろん」

特別企画、芸術文化や食にふれていただける「ハーモニー ブンカさろん」

文化にまつわるお話しと演奏をお聴きいただいた後は、コーヒータイムで話題の輪がさらに広がります!

< 料金 > 全席自由 2,000円(スイーツ付チケットは限定100枚*)
*スイーツ付チケットの購入枚数はお一人様2枚まで
< 発売日 > 各公演の2ヶ月前の他公演発売日と同日(予定)



2016年の公演から

【第10回】～アメリカン・サウンド!!～

日程 4月18日(火) 13:30開演
出演者 お話・演奏/小曾根 真(ピアノ)

【第11回】～世界を見る・世界を知る～

日程 9月12日(火) 13:30開演
出演者 お話・歌唱/コロシエリカ(ソプラノ) 駐日ベネズエラ大使夫人
演奏/藤井俊樹(ピアノ)

【第12回】～バラ色の街トゥールーズ～

日程 11月21日(火) 13:30開演
出演者 お話/岸川貞夫(元福井県立美術館館長)

コンサートへのご来場でおトクに

リピーターの方への特典(スタンプdeビンゴ)

いつもコンサートにご来場くださる方々に感謝の気持ちを込めて、
ささやかなプレゼントを差し上げます。
(詳しくは左頁の情報をご覧ください)

初来場の方へのプレゼント

初めてご来場になった方限定
所定の用紙に、公演当日の感想をご記入、ご提出いただいた際に、
500円割引券を差し上げます。

和装de割引

来日アーティストを迎えて開催する公演に、
和装でご来場された方には、次回以降のコン
サートにご利用いただける500円割引券
を差し上げます。



該当公演は、P.5～20で紹介

公共交通のご利用でおトクに

フレンドリーアート号

嶺南地域から「ハーモニーホールふくい」に来場さ
れる方々の利便性を図るため、嶺南地域の各市
町を經由する無料送迎バスを運行しています。

【お問い合わせ・お申し込み】
福井県 観光営業部 文化振興課
TEL.0776-20-0582

該当公演は、P.5～20で紹介



電車割引(全ての公演が対象です)

「ハーモニーホールふくい」沿線を走る福井鉄道
福武線を利用してコンサートにお越しの方は、ご
乗車当日の公演チケットを駅員又は乗務員に提
示することにより、どの駅からでも片道大人200
円、こども100円の割引運賃でご乗車できます。



CONCERT INFORMATION

2017.4 - 2018.3

「ハーモニーホールふくい」コンサート情報

一般・プレイガイド発売日 2月25日(土)

5.4 (水) 風と緑の楽都音楽祭 in ふくい
18:00開演 伊藤 恭利指揮が導く「ベートーヴェンと三人の女たち」

5.27 (土) 新イタリア合奏団 ~2つの四季~
18:00開演

一般・プレイガイド発売日 3月25日(土)

6.22 (水) 2大サルサ・バンド 夢の舞臺!
19:00開演 オルケスタ・アル・ソル X オルケスタ・テラ・ルス

6.25 (日) 初夏の子どもコンサート
15:00開演 シンドバッドのぼうけん

一般・プレイガイド発売日 4月22日(土)

7.12 (水) 華麗なるイタリア・オペラの世界
19:00開演 「オペラへの誘い」II

7.20 (木) レナード・スラットキン指揮
19:00開演 テトロイト交響楽団 ピアノ:小曽根 真

一般・プレイガイド発売日 5月20日(土)

8.4 (金) ファミリーシアター
19:00開演 「気づかいルーシー」

8.9 (水) 越のルビー音楽祭
19:00開演 若い芽コンサート2017

8.11 (金) 越のルビー音楽祭
14:00開演 スペシャル・チェンバー・コンサート

8.20 (日) サマー・ハーブコンサート2017
15:00開演

一般・プレイガイド発売日 6月17日(土)

9.20 (水) 東儀秀樹 X 古澤 巖 X coba
19:00開演 TFC55 LEVEL IV

9.30 (土) 五木ひろし ふるさとに歌う
16:00開演

一般・プレイガイド発売日 7月15日(土)

9.23 (土) 開館20周年記念
14:00開演(予定) 越のルビー音楽祭スペシャル

10.18 (水) 華麗なサウンドがよみがえる
19:00開演 ボール・モーリアリメンバー・コンサート

11.29 (水) フィリップ・ジョルダン指揮
19:00開演 ウィーン交響楽団 ヴァイオリン:橋本大道

一般・プレイガイド発売日 8月26日(土)

11.5 (日) 秋の子ども音楽会
11:00開演(予定) ステージでできるコンサート(仮題)

11.15 (水) 小池博史 meets 宮沢賢治
19:00開演 新・ダンス音楽劇「注文の多い料理店2017」

11.23 (水) 坂東玉三郎演出
16:00開演 鼓童「打男 DADAN 2017」

一般・プレイガイド発売日 9月16日(土)

12.3 (日) サンタの国からやってくるアンサンブル
15:00開演 ヘルシンキ・バロック・オーケストラ

12.24 (日) ふくいの第九
14:00開演

一般・プレイガイド発売日 10月28日(土)

1.8 (非) ニューイヤーコンサート2018
15:00開演 シルク・ドゥ・ラ・シンフォニー

一般・プレイガイド発売日 11月25日(土)

2.9 (金) アンサンブル・ノマドが贈る室内楽の楽しみ
19:00開演 ~音楽の中の生活~

2.25 (日) 東京チェロアンサンブル 福井公演
15:00開演

3.16 (金) トッガン・ソヒエフ指揮
19:00開演 トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団
フルート:エマニュエル・バユ

一般・プレイガイド発売日 1月27日(土)

3.18 (日) 平成29年度 福井県新人演奏会
14:00開演

3.21 (水) ジュニアが輝く!
15:00開演 “音楽の森”コンサート2018

※各種発売日は下記の通りです。

特別協賛会員先行: 一般発売の4日前

友の会会員先行: 一般発売の3日前

会員先行ネット販売: 一般発売の2日前

一般発売日: 上記に記載

一般ネット販売: 一般発売の日

※原則として、就学前のお子様のご入場はご遠慮いただいております。
※公演情報は2017年2月2日現在のものであり、都合により変更される
場合があります。あらかじめご了承ください。



ハーモニーホール

チケットのご予約・お問い合わせ

ハーモニーホールふくいチケットセンター

TEL.0776-38-8282 [10:00~17:00]

プレイガイド

ベル、バリオ、エルバ、アル・プラザ武生、シビィ、武生東市、アル・プラザ鯖江、ヴィオ
サン・プラザ、音楽堂小浜店・教員店



ホームページ <http://www.hmf.jp/>

